フォレスト・ニュース
NO.993
20年11月

森のひろば

近畿中国森林管理局
大阪市北区天満橋1-8-75　TEL 050-3160-6763
http://www.kinki.kokuyurin.go.jp

水都おおさか森林の市 2008

オープニングセレモニーでは、地元天神・天満花娘さん達が勢揃い、「大阪じめ」で景気をつけての開催となりました。

【関連記事は、2～3頁】

■INDEX

02　水都おおさか森林の市2008を開催
03　「オフィスに木の香りと安らぎを」展示会を開催 －企画調整室－
04　茗荷谷国有林 生物多様性に富んだ神之瀬峡 －広島北部森林管理署－
05　みかげ石と神の島「黒髪国有林」 －山口森林管理事務所－
06　全国森林計画の策定について －計画課－
07　各署等の取組・行事の紹介
08　シリーズ「森を守る」 京都における治山対策 －治　山　課－

この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を使用しています。

水都おおさか森林（もり）の市2008を開催

約2万8千人の市民が森の恵みを満喫

10月11日（土）、12日（日）大阪市内（近畿中国森林管理局、ＯＡＰ、毛馬桜之宮公園周辺）において、「水都おおさか森林の市２００８」を開催しました。今回は、地球温暖化防止をテーマとして「大川端に森林が出現、身近な森林、使って守ろうみんなの暮らし」をスローガンに掲げ、地元堀川地域をはじめ淀川流域圏を中心とした幅広いエリアの行政や民間団体の参加・協力により73団体の出展を得ました。

初日の11日は、前夜から降っていた雨も晴れ上がり、大阪府副知事による「大阪府木づかいＣＯ２認定証交付式」、近畿中国森林管理局長による「森と木の絵画コンクール表彰式」、天神天満花娘さんらによる「つるカット」「大阪じめ」でのオープニングセレモニーで開幕しました。「学びのもり」「もりの小道」「遊びのもり」「お祭りのもり」「水辺のもり」の五つのゾーンに分かれた会場では、子どもたちも楽しく参加できる展示や丸太切り・木工体験、林産物の販売、ボートの乗船体験、さらには、クイズに答えて景品がもらえるスタンプラリーや苗木の無料配布。また、ステージでは、「大阪すみよし少年少女合唱団」による森の歌の合唱やチェロなどの楽器演奏のほか、「天満音楽祭」のプログラムの一部が行われるなど、「見て」「聴いて」「ふれて」「味わい」「匂う」五感で楽しめる催しが盛大に行われ、２日間で延べ約2万8千人の市民の方々が来場されました。

木工体験の様子

恒例になったオープニングでのつるカット

天満音楽祭　盛り上がり　コンサート会場さながらの

例年人気の丸太切り

近畿中国森林管理局、大阪府、（社）大阪府木材連合会では、“木づかいでストップ地球温暖化”を合言葉にオフィスでの木材製品の利用を促進するため、10月7日から12日の間、当局1階の「森林のギャラリー」において、各種木製オフィス用品の展示会「オフィスに木の香りとやすらぎを」展示会を開催しました。

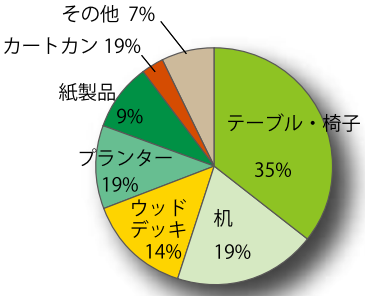
全国から企業など３４団体が、国産材を使用した机、椅子、テーブル等の木製品、間伐材を利用した名刺、はがき、カート缶等の紙製品など自慢の製品を展示しました。

また、１０月８日には出展者による説明会と、（財）日本木材総合情報センターと連携し、「企業向けセミナー”木づかいのすすめ”大阪」を開催し、木づかいの重要性をPRしました。

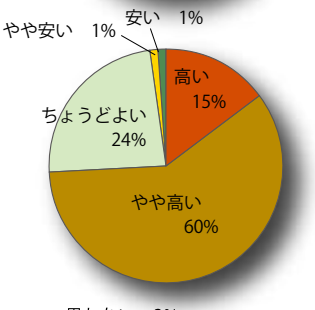
期間中は、約２，３００名の入場者があり、「実際に目にふれ手で触れてとてもよかった。木材利用は大切なことと思います」「木のあたたかさを改めて感じた」「こういう機会をもっと増やして欲しい」などたくさんの声がありました。家庭やオフィスなどで木製品を身近に取り入れる一人ひとりの「木づかい」が地球温暖化防止に貢献します。みなんさんも国産材を積極的に利用しましょう。

会場で実施したアンケート調査結果の一部を紹介します。

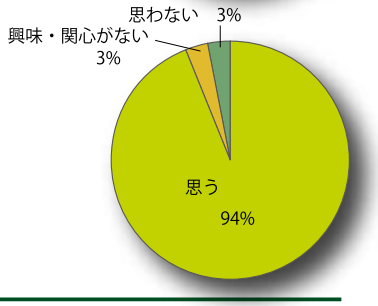
Q：興味があった展示品は何でしたか。
複数回答
回答147名
（総数259）



Q：展示品の価格について。
回答131名



Q：木材を利用して地球温暖化防止に貢献したいと思いますか。
回答148名



みようがだに 茗荷谷国有林 生物多様性に富んだ神之瀬峡（かんのせきょう）

広島北部森林管理署㉝

三次市中心部から北へ、約30キロ、車で40分に位置する、広島県三次市君田町の茗荷谷国有林について紹介します。

広島県の調査によれば、茗荷谷山の神之瀬峡には７６９種の植物、８０４種の昆虫が確認され、生物多様性に富み、ツキノワグマの生息が確認された他、モリアオガエル、カジカガエルの生息は特筆に値すると報告されています。

この地域は、昭和45年から神之瀬峡自然環境保全地域に指定されていましたが、平成10年に２千７３６haが県立自然公園に指定され、野生動植物の保護を図るため各種の行為規制により、生物多様性の保全に大きな役割が果たされています。

植生は、スギやヒノキの人工林が広がっている中で、高暮ダムに向かう県道４５６号周辺や伊久利山周辺にはコナラ・アベマキ林、ダム周辺にはブナ・クロモジ林を見ることができます。

神之瀬峡は、海抜２６０～９００ｍの範囲に及ぶので、原植生は落葉広葉樹林（ブナ群系）から中間針葉樹林（モミ・ツガ群系）を経て常緑広葉樹（シイノキ群系）にわたっていたものと推定されます。しかし、近世以降、砂鉄精錬用木炭山地として開発されたため、森林は伐開され、原植生といえるものは殆ど残されておらず、船山山頂付近にわずかにブナ林が残っているに過ぎません。従って本地域は大部分が二次林であるクリ・コナラ群落とスギ・ヒノキの植林が占めています。

見所としては、昭和24年に10年の歳月を経て完成した堤高６９．４ｍ、湛水面積１８５haを誇る高暮ダム、ダムでせき止められた神之瀬湖、落差30ｍの小庵（こいおり）の滝、第１種特別保護地域内にある、落差８ｍの鳴ヶ滝などがあります。

本峡谷は、県内では三段峡と同様に中国山地の脊梁部から発した川の浸食によってできたものであり、深さは３００ｍにも達します。

一方、河川の流路に沿って顕著な断層線がみられ、この断層線から鉱泉の湧出があり、川底の随所にアブクの噴出、変色現象などの特異な自然現象を現出していることが特徴です。鉱泉が湧出しているため、石灰華らしい鉱物質の沈積現象とガスの噴出現象が見られます。

事業面では、適切な間伐実行等により、二酸化炭素の吸収源等、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、神之瀬川の右岸に総延長１万７千ｍの作業道を計画しているところです。その他、茗荷谷国有林の近くには君田温泉、キャンプ場等の施設もあります。森林レクリエーションの場としても見所豊富な茗荷谷国有林に是非お越し下さい。

◆アクセス

車の場合　中国自動車道三次ＩＣから約30分（下流地域）、中国自動車道三次ＩＣから約40分（上流地域）

公共交通機関の場合　ＪＲ芸備線三次駅から神之瀬方面行のバス約35分宮原板橋前下車（下流地域）、ＪＲ芸備線三次駅から神之瀬方面行のバス約50分沓ヶ原下車（上流地域）

写真　（右）神之瀬峡　岩と淵
（上）鳴ヶ滝　落差８ｍ

〒七二八-〇〇一二
広島県三次市十日市中二-五-一九
ＴＥＬ〇五〇-三一六〇-一〇〇〇
ＦＡＸ〇八二四-六二-二一五六
http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/hokubu

みかげ石と神の島「黒髪国有林」

山口森林管理事務所㉞

山口県東南部に位置する周南市の南西約5㎞沖合に浮かぶ黒髪島は、古来から「神の島」と言われ、厳島神社が祭られています。この厳島神社は、宮島の厳島神社と同名ですが、平清盛が厳島神社建立の候補地として、この島を挙げていたと伝えられ、広島の宮島と同日に管弦祭が行われるなど山と海の安全をお守りしています。

この黒髪島の大半を占めるのが、黒髪国有林（標高313m、周囲12キロ、面積288ha）で、林齢44～84年生のアカマツ、クロマツ、広葉樹（ヤマモモ・カシ等）の天然林となっています。周南市の市街地から近く、徳山湾の中にあって瀬戸内海国立公園の一角を占め風致景観に優れていることから、約200haをレクリエーションの森「黒髪風景林」に指定し景観に配慮した管理経営を行っています。

黒髪島の島全体はみかげ石の原石となる花崗岩で形成されています。このため、明治11年から国有林の一部において良質な石材と海上輸送の利便性を生かした採石事業が行われています。黒髪国有林のみかげ石（徳山みかげ）は、世界屈指の品質で国会議事堂の中庭から堀周辺に15万4678切りが使用されるなど、モニュメント、墓石、護岸工事用等として幅広く利用されています。近年は、墓石や記念碑用として加工される大型の原石も減少しており、防波堤の栗石や護岸などの捨て石、被覆石等の採石も行われています。

また、採石を終えた箇所については、緑化工（ヤマモモ、クロマツ等植樹）による林地復旧や海への濁水防止のため沈砂池の整備などを行い環境、景観保持に努めています。

厳島神社

黒髪島

加工用原石（モニュメント用）

採石後の緑化状況

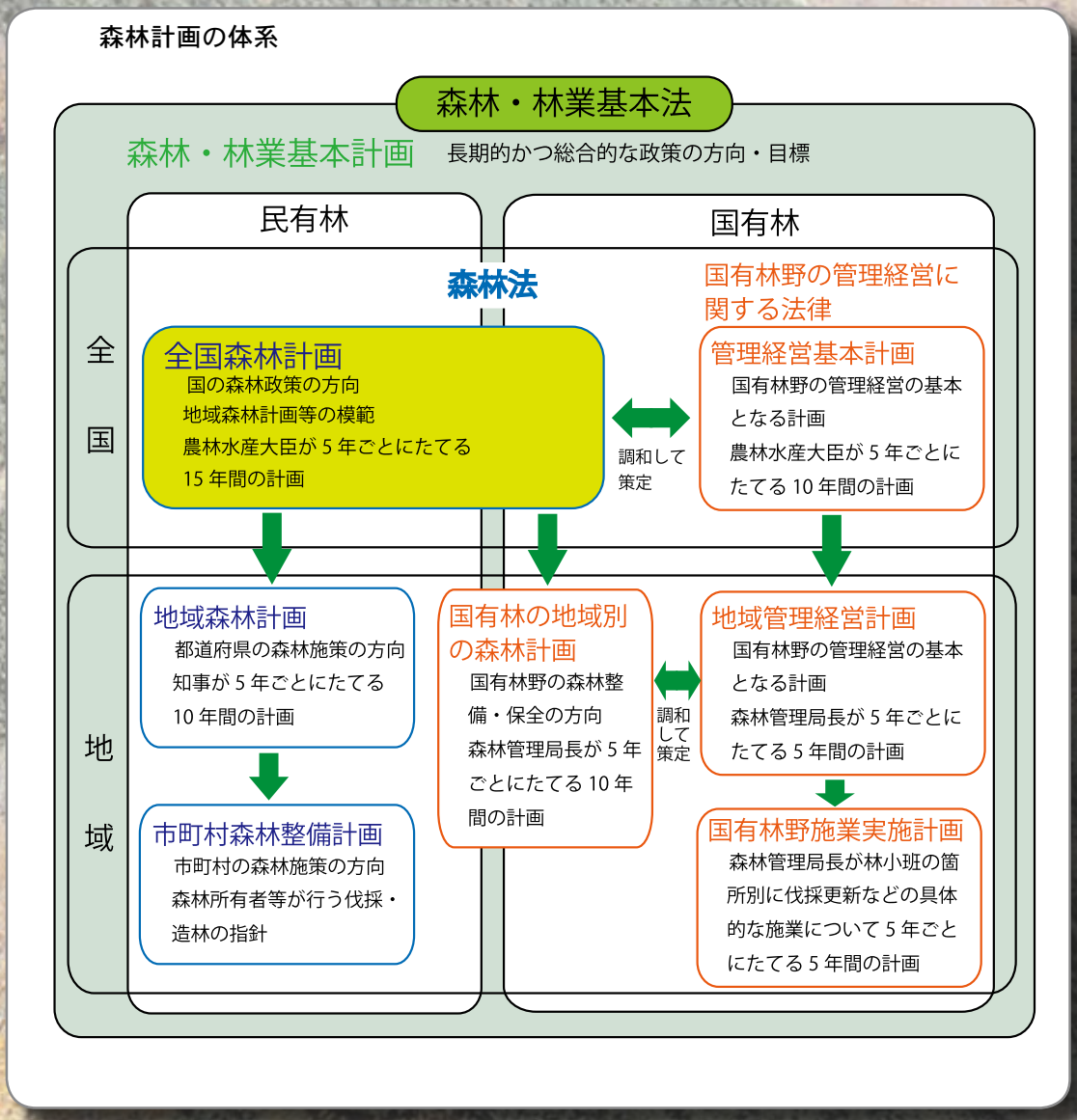
◆アクセス

徳山築港から海上タクシーで約20分。魚釣りに絶好です。隣接する大津島には、戦時中に行われた人間魚雷発射訓練の悲劇を物語る回天記念館などがあります。

〒七五三-〇〇九四
山口市野田三五-一
TEL〇五〇-三一六〇-六一五五
FAX〇八三-九二三-四六三一
http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/yamaguchi

全国森林計画の策定について

計画課



平成20年10月21日に、森林法の規定に基づき、農林水産大臣が、5年ごと15年を一期とした全国森林計画が閣議決定しました。

この計画は、国の関連施策の方向性を示し、地域別の森林計画（国有林）、地域森林計画（民有林）の模範として、森林の整備・保全の目標、立木伐採材積、造林面積等の計画量、施業の基準を示しています。

今回の策定の概要としては、

○森林の重視すべき機能に応じた望ましい森林の姿に誘導するため、針広混交林や長伐期化等の多様な森林の整備・保全をより一層進める。

○森林整備の目標、計画量については、森林・林業基本計画に示されている目標等の考え方に即し、新たな計画期間に見合う量を計上。特に、健全な人工林の育成と成熟化しつつある国内資源の本格的な利用を推進するため、間伐を主体に伐採立木材積を増加するなどとなっています。

今後、全国森林計画に即して、国有林の地域別の森林計画及び地域森林計画を樹立することとなります。

◆お知らせ

国有林の地域別の森林計画（案）の公告縦覧

森林法第七条の二第一項の規定に基づき、吉野（奈良県）、南伊勢（三重県）、紀南（和歌山県）、揖保川（兵庫県）、天神川（鳥取県）、高津川（島根県）、旭川（岡山県）、太田川（広島県）、豊田（山口県）各森林計画区について、広く国民の皆さまの意見を反映するため、11月中旬より、計画案の公告・縦覧を行います。

各署等の取組・行事の紹介

民・国連携による低コスト路網生産システム研修を開催

【福井森林管理署】10月15日、大野市において「平成20年度低コスト路網生産システム研修」（主催　福井森林管理署、後援　福井県）を開催しました。

この研修は、福井森林管理署が「低コスト路網生産システム導入指針」（局作成）に基づき実施する日ノ谷国有林の間伐実行箇所において、その取組を関係者に紹介するとともに、福井県において普及・定着を図っていくための方策等について意見交換を行うことを目的とするものです。

当日は、当署職員並びに福井県や森林組合等関係者を含め総勢21名の参加を得て、午前中は「低コスト路網生産システム導入指針」の紹介及び現地の概要等についての座学を行いました。午後からは日ノ谷国有林に移動して、現場代理人から作業仕組み等の説明を受けた後、まずバックホーによる集材路開設状況を見学しました。その後、場所を移動して、最新型のＫＥＴＯ製の*プロセッサーを囲んで、その性能の説明を受けました。意見交換ではプロセッサの性能や稼働率、作業路作設単価やシステム全体の生産性等に関する質問等、参加者から活発な発言がなされました。最後に、署から「本日の研修の成果を踏まえ、福井県の地形等の条件に適合した、より効率的なシステム作りを進めていきたい」と挨拶し、研修を締めくくりました。

福井森林管理署として初めての取り組みでしたが、今後も民・国連携しつつ、間伐及び間伐材の有効利用の推進を図っていきたいと考えています

説明を受ける参加者

***プロセッサー　林地や土場で伐倒木をつかみ送材しながら枝払いを行うと同時に油圧チェーンソーで一定の長さに玉切りが出来る高性能林業機械**

大杉谷の樹木をニホンジカから守る　～ボランティアによる樹木保護作業～

【三重森林管理署】10月18日、「近畿の屋根」と呼ばれる大台ヶ原の三重県側に位置する大杉谷国有林（三重県大台町）で、トウヒなどの樹木を保護するボランティア活動を行いました。

大台ケ原一帯では昭和30年代に伊勢湾台風等大型の台風の影響で、亜高山性針葉樹林（トウヒ・ウラジロモミ等）が倒れ林内に光が入り込み、急速にミヤコザサが増加しました。このため、ニホンジカが生息しやすい環境が出来たことにより増加が始まり、トウヒなど樹木の樹皮を剥ぐ被害が増え始めました

金網を巻き付け食害から守る

このような中、大杉谷国有林では平成10年度より、樹木に金網を巻き付けたり、周囲をネットで囲い食害を防ぐ等、ニホンジカの被害対策を進めてきました。今回実施したボランティアによる樹木保護作業は、被害の実態をつぶさに見ながら樹木の保護をしようと、平成12年より毎年開催しているものです。７月に続き今年２回目のボランティア活動で、参加者は県内はもとより遠くは静岡県からの参加もあり、関心の高さがうかがえました。

今回の作業は、経過年数により古くなった金網を新しい金網に張り替える作業で、幹だけでなく根の部分も保護しないとシカの食害に合うため丁寧に金網の巻き付けをしました。参加者からは「シカの食害から樹木を守れるなら」「この活動に参加できて良かった」などお互いが協力しながら作業を行いました。

シカによる食害

京都市立蜂ヶ岡中学校の生徒による職業体験を受け入れ

【京都大阪森林管理事務所】9月10日から12日にかけて、京都市教育委員会の主催による「生き方探究・チャレンジ体験」推進事業の一環として、京都市立蜂ヶ岡中学校2年生3名（男子1名、女子2名）の職業体験を受け入れました。

生徒は、間伐やトランシットを使用しての境界探索、銀閣寺山国有林で取り組んでいる「古都のマツの緑復活プロジェクト」の手伝い等を体験しました。間伐の体験では、女子生徒2名は鋸を初めて使うとのことで、立木を思いどおりに伐ることが出来ず、疲れた腕を何度も振っていました。

期間中は好天に恵まれたこともあり、日中は30度を超える日差しの中でしたが、生徒らは、自然を相手に働くことの大変さと楽しさを体で学んだようでした。

間伐を体験する生徒

シリーズ

森を守る

京都における治山対策

紅葉の季節がやってきました。近畿中国森林管理局管内では、大山（鳥取県）、箕面（大阪府）、宮島（広島県）、白山（石川県）などの紅葉の名所に国有林があり、これらの場所でも治山対策が行われています。

京都大阪森林管理事務所では、京都を代表する紅葉の名所、嵐山・貴船などに国有林があります。このような観光地では、散策路等への落石を防ぐなどを目的に治山工事を実施しています。これらの施設は、石や木などの材料を使うなど、周辺の景観になじむように作られています。

これらの場所を訪ねられた時には、紅葉に隠れた落石防止等の施設を見つけてみて下さい。

嵐山では、大堰川沿いの散策路に面した国有林に、落石防護工・木柵工があります。

夏には、貴船山国有林沿いの渓流に川床が設けられます。山の斜面に落石防護工が見えます。

清水寺の裏山の国有林には、木製の谷止工があります。